

次期長野県循環器病対策推進計画の基本構成（案）について

令和5年9月21日

保健・疾病対策課

ロジックモデルに基づき、以下の構成で記載

第2節 脳卒中对策（長野県循環器病対策推進計画）

I 脳卒中对策の目指す姿

1 現状

- （1）脳卒中の受療率・推計患者数の状況
- （2）脳卒中による死亡の状況
- （3）要介護等に至る原因に占める脳卒中の割合

脳卒中に関する数値等の現状

2 目指す姿（分野アウトカム）

県民が脳卒中の予防につとめるとともに、罹患した場合も必要な医療を受け、安心して暮らすことができる

3 目指す姿の実現のための3つの基本目標（中間アウトカム①）

- （1）脳卒中の発症を予防できている
- （2）脳卒中患者が、住む場所に関わらず必要な医療を受けることができる
- （3）脳卒中患者が、日常生活の場で質の高い療養生活を送ることができている

数値目標

1 中間アウトカム①指標

Ⅱ 脳卒中の発症を予防するために

1 県民が脳卒中についての正しい知識を持ち、生活習慣の改善に取り組んでいる

(1) 予防・健康づくりの普及啓発

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

2 県民が自身の健康状態を把握している

(1) 特定健康診査・特定保健指導の受診啓発

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

Ⅲ 住む場所に関わらず必要な医療を受けることができる

3 脳卒中の医療提供体制

4 発症後できるだけ早期に専門医療機関に搬送されている

- (1) 初期症状と適切な対応に関する知識の普及
- (2) 患者の観察や搬送基準の整備
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時における救急搬送体制の維持

ロジックモデルの「救護」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

5 発症後早期に専門的な治療を受けることができる

- (1) 脳卒中中の急性期医療に 24 時間 365 日対応できる体制整備
- (2) 感染症発生・まん延時や災害時においても、患者が必要な通常の急性期医療を受けられる体制整備

ロジックモデルの「急性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

6 発症後早期に専門的なリハビリテーションを受けることができる

- (1) 誤嚥性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制整備
- (2) 廃用症候群を予防し、早期に自立できるリハビリテーションの実施体制の整備
- (3) 回復期の医療機関やリハビリテーション施設との円滑な連携体制の構築

ロジックモデルの「急性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

7 二次医療圏相互の連携体制

- (1) 患者の受療動向
- (2) 連携体制

Ⅳ 日常生活の場で質の高い療養生活を送ることができる

8 身体機能の早期改善のための集中的リハビリテーション及び日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる

- (1) 専門医療スタッフによる集中的なリハビリテーション及び生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが実施可能な医療機関の整備
- (2) 誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制整備
- (3) 急性期および維持期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスとの連携体制の構築

ロジックモデルの「回復期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

9 日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる

- (1) 生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制整備
- (2) 誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制整備【再掲】
- (3) 回復期および急性期の医療機関等との連携体制の構築
- (4) てんかん、失語症、高次脳機能障害等の後遺症を有する人への支援体制整備

ロジックモデルの「慢性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

10 在宅療養支援を受けることができる

- (1) 在宅での療養支援体制の整備

ロジックモデルの「慢性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

11 治療と仕事の両立支援・就労支援を受けることができる

(1) 治療と仕事の両立支援・就労支援体制整備

ロジックモデルの「慢性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

12 再発や重症化を予防できている

(1) 再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制整備

ロジックモデルの「再発・重症化予防」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

第3節 心筋梗塞等の心血管疾患対策(循環器病対策推進計画)

I 心血管疾患対策の目指す姿

1 現状

- (1) 心血管疾患の受療率・推計患者数の状況
- (2) 心血管疾患による死亡の状況
- (3) 要介護等に至る原因に占める心血管疾患の割合

心血管疾患に関する数値等の現状

2 目指す姿(分野アウトカム)

県民が心血管疾患の予防につとめるとともに、罹患した場合も必要な医療を受け、安心して暮らすことができる

3 目指す姿の実現のための3つの基本目標(中間アウトカム①)

- (1) 心血管疾患の発症を予防できている
- (2) 心血管疾患患者が、住む場所に関わらず必要な医療を受けることができる
- (3) 心血管疾患患者が、日常生活の場で質の高い療養生活を送ることができる

数値目標

1 中間アウトカム①指標

II 心血管疾患の発症を予防するために

1 県民が心血管疾患についての正しい知識を持ち、生活習慣の改善に取り組んでいる

- (1) 予防・健康づくりの普及啓発

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

2 県民が自身の健康状態を把握している

(1) 特定健康診査・特定保健指導の受診啓発

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

Ⅲ 住む場所に関わらず必要な医療を受けることができる

3 心血管疾患の医療提供体制

4 発症後できるだけ早期に専門医療機関に搬送されている

- (1) 初期症状と適切な対応に関する知識の普及
- (2) 患者の観察や搬送基準の整備
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時における救急搬送体制の維持

ロジックモデルの「救護」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

5 発症後早期に専門的な治療を受けることができる

- (1) 心血管疾患の急性期医療に 24 時間 365 日対応できる体制整備
- (2) 感染症発生・まん延時や災害時においても、患者が必要な通常の急性期医療を受けられる体制整備

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

6 発症後早期に専門的なリハビリテーションを受けることができる

- (1) 心血管疾患リハビリテーションの実施体制の整備
- (2) 回復期の医療機関やリハビリテーション施設との円滑な連携体制の構築

ロジックモデルの「急性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

7 二次医療圏相互の連携体制

- (1) 患者の受療動向
- (2) 連携体制

Ⅳ 日常生活の場で質の高い療養生活を送ることができる

8 身体機能の早期改善のための集中的リハビリテーション及び日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる

- (1) 専門医療スタッフによる集中的なリハビリテーション及び生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが実施可能な医療機関の整備
- (2) 急性期および維持期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスとの連携体制の構築

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

9 心身の緩和ケアを受けることができる

(1) 心血管疾患に対する緩和ケアの実施体制の整備

ロジックモデルの「回復期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

10 日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる

(1) 生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制整備

(2) 急性期および回復期の医療機関等の連携体制の構築

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

11 在宅療養支援を受けることができる

(1) 在宅での療養支援体制の整備

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

- 12 治療と仕事の両立支援・就労支援を受けることができています
(1) 治療と仕事の両立支援・就労支援体制整備

ロジックモデルの「予防」の
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

- 13 心身の緩和ケアを受けることができています
(1) (再掲) 心血管疾患に対する緩和ケアの実施体制の整備

ロジックモデルの「慢性期」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標

- 14 再発や重症化を予防できている
(1) 再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制整備

ロジックモデルの「再発・重症化予防」の施策ごとの
「現状と課題」と「施策の展開」

数値目標

- 1 中間アウトカム指標②
- 2 個別施策の指標